

【中学生区分】

宮城県優秀賞

「本当の気持ち」

大崎市立古川西小中学校

9年 大場 凜音

突然ですがみなさんは、障害者と聞いてどのようなイメージを持ちますか。私は最初、「かわいそう」「自分とは違う」など、なぜかマイナスのイメージが強い事ばかり考えていました。ですが、この考えは、ある行事を行って変わりました。

私たちの学校では、キャリアセミナーという講師の方々をお招きしてお話を聞く会を開かせていただきました。そこで私は、一回目に介護関係、二回目には障害者との関わりについてお話を聞きました。私にとって、とても印象強かったのは二回目に聞いたお話の方でした。私は初め、「障害を持っている人」と聞いたら、前に話した通りのマイナスなイメージでした。しかし、講師の方のお話から分かったことは、マイナスが一つも無いということでした。講師の方は、障害を持っている子たちには、かわいそうと思って親切に対応したり、手伝ったりするのはやめてほしいとおっしゃっていました。私はそのような事に対して、ハテナがうかびました。なぜなら、大人のほとんどは、親切にして、手伝ってあげてなどと言うからです。詳しくお話を聞いていると、

「大人ってみんなそう言うけど、私たち、自分一人で成し遂げてみたい事があるとする。それを誰かに進められると、ありがた迷惑になっちゃう。それはみんな同じなの。」

そう聞いた時、私は納得しました。それと同時に、みんな同じなんだという事に気付かされました。

また、出かけた時などにも障害を持つ人と出会うことがあると思います。私は最近だと、夏祭りで見かけました。そこで周りの人達は手伝うというより、道を開けていたので、良い

事だなと思いました。

このように私たちはこれからも、たくさんの人と出会うことがあると思います。どんな人にでも、同じ対応をして、もし声をかけられたら手伝うという事が大切になってくると思います。みなさんも心がけてみてください。